



「いま、新たなチャレンジ」

一一〇年前も

今日と同じように

吹いていた古く新しい風。

同じ風を受けて少年たちは

一途な夢と冒険心にあちて

しるべもない遠い道を目指し

たえまなく出発して行つた。

幾千もの挑戦の跡を残して。

一一〇年後の今

はてしない時への

新たな出発のために

歳を重ねたものも 少年少女だった

あの頃にみた夢の帆のきれはしを

吹きつける古く新しい風にかざして

明日に向かう自分に挑んでゆく。

その夢の帆をはためかせて。

文・古明地 勝昭(昭和37年卒)

画・清水 勲(昭和37年卒)

## 革命的変革の二十一世紀へ 向けて新しいチャレンジを

東京同窓会会長 渡辺 喜一



いま、私どもは、西暦二千年という節目の年にいます。

十八世紀に始まった産業革命が工業社会を造り、人々の生活様式や価値観を変えたように、二十一世紀の社会は、情報技術(IT)革命により私どものライフスタイルを変えてしまおうといわれます。

時間や空間の制約がどんどん小さくなり、働く場所、購入先や販売先などグローバルに自由を選択できる社会が予想されるからです。

世界の先端を行く米国の高成長の三分の一はIT関連部門によっています。ITを中心とした投資需要は、漸く日・欧等にも拡がってきました。

次に次ぐ経済大国日本は、ITに即応した社会・経済構造を早く造り上げ、変革の時代をリードしていかねばなりません。

私も甲州人は進取の気象に富んでいます。

積極的に二十一世紀革命に参画していつて貰いたいと思います。

## 挑戦こそ若さだ

同窓会会長 井上 雅雄



去る五月二十七日の総会で、第十代会長に指名をされました。創立百二十年の記念の年に選任され、その責任の重さを感じております。

私は昭和二十一年四月、旧制中学最後の学生として入学、昭和二十七年三月、卒業です。

中学、高校の六年間を美咲の学舎に通学しました。

戦前、戦中、戦後と教育改革の名のもとに、めまぐるしく変わる教育制度の中を最悪の環境ではありましたが、幾つかの楽しい思い出のある学生生活でした。

学校間格差は正の錦の御旗は、小学区総合選抜制度となり、甲府二高つぶしが始まり、残念ですが、現在も続いております。

その中、中高・貫教育の早期導入という問題も出て来ました。

百二十年の轍の上に、同窓会として何が出来るかを考える二十一世紀にすべく、果敢にチャレンジしようと思います。

## 創立百二十年周年を迎えて

校長 興石 順一



今年は本校創立百二十年の年にあたり、十月二十日には記念式典を挙行いたします。

記念音楽会や甲一美術展、記念誌発行、百周年記念館整備等の事業の準備を着々と進めており、同窓会の皆様には二方ならぬご協力をいただきましたことに対して厚く御礼申し上げます。

明治から百二十年間、本校の歴史の道のりは、幾多の紆余曲折を経ながら、新しい教育制度と整わぬ教育条件を克服しながら険しいものでありました。こうした中で、高遠な理想を揚げ、職員生徒は様々な困難や葛藤を乗り越えながら甲府中学・甲府一高の近代教育の確立と伝統・校風の創造に情熱を注いでまいりました。

私たちは、これまで以上に次代を担う本校生徒が文化国家を創造し心豊かな人間に育つよう努力してまいります。今後とも、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、東京同窓会のご活躍を祈念申し上げます。

## 新感覚のコミュニケーションで

一紅会会長 五十嵐 節子



和の精神、に否定的な方がいる。

この方が「コミュニケーションの大切さ」を提唱すると聞けば、ん？と思われるかもしれない。提唱者は木村尚三郎氏(歴史学者)で、氏によれば、和とは従来、気心の知れた仲間内だけのもの、大勢の人が多様な形であらう現代には新しい付合い感覚が必要だという。大切なのは異質なものの広範囲なものと協調するボーダーレスな交流で、そこから次代を開く知恵が生まれるという発想だ。

言える、と私が思うのは、状況が東京同窓会の場合と似ているからだろうか。ルーツは同じだけれど年代もライフスタイルも多種多様な大勢の集まり。明日を開く知恵や閃きが、あの空間に飛びかうとしたら……。

知らない間柄で「顔じゃないよ心だよ」では始まらないと木村氏は言う。折角の集いの場にあつて私たちは、まず誰もが隔てなく、いい顔いい感じを見せあうことで、より広い共感を育てていきたい。

東京同窓会が新感覚の交流文化にチャレンジする、その舞台はもう整っている。

# 母校だより

私たち生徒・教職員はこんな風に頑張っています。

## 国際交流について

英語科主任 三間 恵子

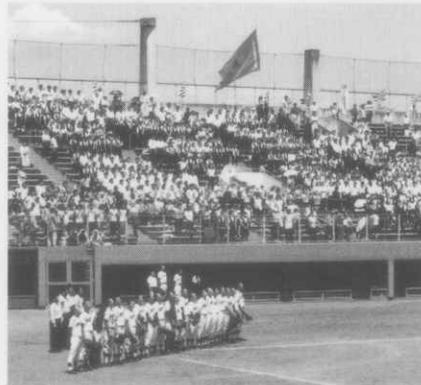
平成11年度海外短期体験留学は、英語科1年生が全員参加、カナダ(ウィクトリア・バンクーバー)で10日間の研修を行いました。バンクーバーでは市内の語学学校で、生の英語にふれ、語学学習への更なる意欲をかき立てられました。公立のトマス・マクイナス高等学校を訪問、同年代の高校生たちと交流することができました。また、この4月16日から27日まで、アメリカアイオワ州のフーバー高校から、生徒16名、教員3名が来校、本校生徒、教職員の家庭にホームステイしながら授業に参加し、知事表敬訪問、市内見学、長野県への1日見学旅行などの行事を体験し、ホストファミリーや生徒たちとの交流を深めました。なお、本校とフーバー高校はこのたび正式に姉妹校締結を行い、歓迎式典において両校の締結文書の交換が行われました。



## 生徒会部活動の近況

生徒会係主任 三井 誠

本校の今年度部在籍率は、(生徒会本部員除く)文化局(男24%・女49%)、体育局(男66%・女47%)となり、重複者を含んでいるとは言え、設置部数(文化局25・体育局27)の多さと合



わせ、県下でも有数の部活を誇っています。一高の部活動の全体的な特徴は統制の取れた自主的な練習が出来ることではないでしょうか。先ず、昨夏の、全国高校選手権県大会で、日川、峽北を破り、強豪市川に2点差で惜敗して、古豪復活を印象付けた野球部です。又、ハンドボール部は、総体では3位を勝ち取り、久々の関東大会出場の快挙を成し遂げました。剣道部、柔道部、空手部、弓道部と言った日本のものごと硬式・軟式テニス、アーチェリーと言った西洋的なものが程よく混在して成果を上げています。地味ながら陸上や水泳、卓球、山岳などの活動も光っ

ています。さらに、昨年も県吹奏楽コンクールで金賞を獲得し、西関東吹奏楽コンクールに出場した応援団吹奏楽部。書道部・放送部・演劇部・写真部・化学部等も今年は大いに期待されています。特に書道部は8月の静岡県での全国高校総合文化祭への出場が約束されていて日々精進しています。更に、今年も高校選手権団体戦準優勝の将棋部。そして馥郁とした文化の香りを放ち続ける美術・音楽・書道・箏曲・茶道・新聞・文学部等、伝統性の強い部の存在も忘れる訳には行きません。最後に、生徒会本部と直属の応援団吹奏楽部・応援団の活躍ほど一高の生徒会活動を象徴するものはないでしょう。本部役員の自主性と吹奏楽部・応援団の統制の見事さは高い評価を得ています。

## 強行遠足

体育振興係主任 藤巻 敬正

強行遠足に参加したいという理由で一高入学を希望する生徒が毎年かなりあります。昨年十月五日六日に実施した強行遠足への生徒の参加率は、男子九十八・七%女子九十五・九%でした。これは過去最高の参加率です。男子は一〇・五Km、女子は四七Km先を目指し、ひたすら歩くだけの強行遠足のどこに生徒たちをこんなにも引き付ける力があるのでしょうか。本年も創立百二十周年を迎える十月の三日・四日に実施されます。強行遠足

を通じて交流している北海道北見北斗高校の四名も参加する予定です。



## 進路状況

進路指導主事 福岡 哲司

今春の卒業生の進路も確定しました。四年制大学百六十六名、短大五十二名、専修各種学校四十一名、就職八名、予備校四十二名。四年制大学の内訳は国公立大五十二名、他が私大となっています。殊に今年には東北・東京外語・一橋・新潟の各三名、京都・東京学芸・横浜国大が各一名、の合格者を出すなど、レベルの高さと多様さで大きな成果をあげました。本年春、センター試験において、また、その後の四年制大(殊に国公立大)で県下普通高校が軒並み点数・合格者の割合を下げたなかで本校の奮闘ぶりが際立ち、注目されているところです。様々な制度改革・学校改革のなかで、Be Ambitious「日に新らた」の精神を基に、本校の指導方針が功を奏し始めたと考えているところです。

# われらがチャレンジ

よりよき生への夢と困難に挑む勇氣、時代を拓いた先達から現代の若者まで  
その志に貫かれている Boys be Ambitious!

## 強行遠足新記録

### — 独立独歩の生活人 —



岩間 孝吉

昭和33年卒

高校三年間の強行遠足は、いろいろな意味で自分の人生を象徴しているように思われる。一年の時、雨天のため途中で中止、上諏訪から帰る。二年の時は、予行練習でも調子がよく、本番でもがんばれそうに思われたが、韮崎の先で腹痛のため落伍して帰る。三年の時、期待もされず自



信もないまま、その時を迎え黙々と走る。なぜか身体の調子は平静で、先頭を併走する友もあり、難しい闇夜の道を通りぬけ、松本市で朝を迎える。今考えると不思議に感じられ

るのだが、朝の松本駅前がスタートと思えたくらいで、熱いお茶をひと口いただいた後、先頭確認の先生の自転車に従って、走り出したのである。よく準備された教育プログラム、自己の力を投入して自己発見をさせてくれる場。人生の途上で、しばしば挫折し、くじけそうになる時に、踏みとどまらせてくれたもの。「ここまで歩き続けて来たのだから」もう少し歩けるだけは・・・という人生の予行練習をさせてくれた強行遠足でもある。

## 一高時代のチャレンジが今も支えに



古明地 勝美

昭和42年卒

甲府一高時代は私にとって必ずしも楽しい時代ではなかった。私は性格も成績も目立たない生徒だったが一つだけ「英会話」が大好きだった。当時の一高の英語は「文法」「講読」中心だったが私は「英語はしゃべれなければだめだ！」と当時の「一高英語」に反骨精神でチャレンジしていた。学校の英語は勉強せず甲府の街で見かけた外国人には必ず話し掛けたり、金手(かねて)にあった米人宣教師の英会話教室に顔を出し「腕」を磨いたものである。そのうちにAFS留学試験に受かり米国に

一年間留学することになった。一高卒業後、東京の大学で英語を専攻しNHK国際放送の英語アナウンサーになり30年目を迎えた。この間も、チャレンジ精神は衰える事無く、ある時突然、歯科医に成ろうと思いい立ち、歯科大に入学金まで納めたが経済、周囲の反対、歯科医の将来性を考え断念した。私のこれまでの人生を振り返ってみると常に何かにチャレンジしてきており、そのチャレンジ精神は実に一高時代に培われたものであったと実感する。そしてまた50歳を何年前かに迎えた今、また新たなチャレンジをしようとしている。近い将来、大学の英語教育の分野で自己を試してみたいと計画を進めている。「必ずしも楽しくなかった」一高時代が今は懐かしく感謝すらしているこの頃である。

## 福祉援助者として



山本 宣子

昭和37年卒

この四月から新たな社会保障としての介護保険制度が始まりました。私たちはちょうど、子育てを終え、自らの老いを目前にしなが親の介護問題を担う年代として関心を持つたのではないのでしょうか。今から28年前「恍惚の人」(有吉佐和子著)がベストセラーになり、高齢化社会に入

## 若き日の石橋湛山のチャレンジ



石橋 湛一

石橋 湛一  
満山氏 長男

った日本が今日の超高齢社会を予測してました。著者が老年学(ジェントロジー)を語り、20代だった私は「老い」そのものより「老いていくこと」に関心をもったものでした。学ぶ機会があり、福祉と関わってみました。11年前に国家資格制度が施行されたのを機に、社会福祉資格を取得しました。後にはひげず? 福祉の専門家として責任を負うと共に、沢山の方々に会いするようにしました。「チャレンジ」などとはほど遠く、私の場合周知から次々に「課題」を与えられてきたというのが実感です。日常の小さな喜びや安心を分かちあえることを最上の幸せと受けとめて、困難な活動を大切に行っています。

石橋湛山の生涯は大きく分けて、  
(一) 学生及び大学卒業時代、  
(二) 言論人時代、  
(三) 政治家時代、の三つになる。  
石橋自身では何う考えていたか判らないが、私共から見るとその各々に於いて極めて強いチャレンジ精神に基づく努力が払われたことは明かである。茲では(一)と(二)に関することを少しく紹介してみる。石橋は、

山梨県立第一中学校を明治三十五年（一九〇二年）三月卒業して、その六月、七月頃上京、第一高等学校を受験することとした。もともと寺の子弟であるから宗教家になるのは宿命と考えていたが、単なる僧侶になるには余りにアンビジャスであった。医師をもつて人の肉体を救い、宗教をもつて精神を救う道を選ぶと考えたのである。併し高等学校の入試は石橋にとつては体質的に馴染むものでなく、本気で入試勉強もせず美事にこのチャレンジは失敗した。それでも「もし本当に医道に進んだら相当の医者になつていたらう」と後日「湛山回想」に書いている。併し本当に

け止め、レッセフェール型資本主義を修正し、「新自由主義」を主張したと評した。正に新進気鋭時代の経済学へのチャレンジであった。

### 「泥沼の科学」



齊藤 芳男  
昭和45年卒

「もし本当に医道に進んだら相当の医者になつていたらう」と後日「湛山回想」に書いている。併し本当に医者になつたら、後に言論界や政界で活躍した石橋湛山は出なかつたと考えられる。明治四十四年（一九一二年）東洋経済新報社に入社、同社刊行の「東洋時論」誌の編集を担当した。東洋経済新報社は経済を専門とする雑誌社であるが、石橋は大学で哲学を専攻したので経済学を勉強するべく、独学で経済書を読み、その初めに読んだ本の一つがセリグマンの「経済学原論」であった。この本（原書）は相当分厚い本であるが、これを通勤の電車の中で完読したということの後々話題になった。長幸男氏は後に、石橋の経済思想は、原書でコツコツと自学したA・スミス以降の古典経済学の真髄を土台として、J・S・ミルやJ・M・ケインズの理論を受容し、マルクスの思想的インパクトをも受

大学2年の進学振り分け時に、本郷から学科主任の先生が説明に来た。その時初めて、「真空」が応用物理学であることを知った、以来、大学院から今に至るまで真空屋である。素粒子や重力波などの物理学実験用の巨大装置開発という、ハタから見れば最先端科学へのチャレンジに見える仕事をしている。けれどもその開発のためには、「古くて新しい問題」あるいは「泥沼の科学」と呼ばれている放電や摩擦など、今でも解明し切れていない真空中で起きる予測不能のイヤな現象に付き合うことが必要で、我が身一代での成果を期待してはいけない代物にチャレンジするハメになつている。が、三百年以上前「科学すること」が貴族の趣味であり知的好奇心の対象だった頃からの命題を、科学が職業化してしまつた現代でもまだ与えられていることは、応用物理学の中の「真空」を選んだ私にとつては幸せなかも知れない。

（文部省高エネルギー 加速器研究機構）

### お城の頃の思い出

二十世紀・時代の奔流に身をおいて



赤沢 謙  
大正15年卒

思えば七十七年前の関東大震災がなければ甲府中学校との縁も生まれなかつた。大正十二年九月一日、二期が始まる頃、あの忌まわしい大地震が未曾有の大火災を伴つて東京の下町をなめつくした。その時の阿鼻叫喚は未だに私の記憶を去らない。当時、一家が暮らしていた日本橋亀島町の陋屋は勿論、通学していた神田淡路町の東京開成中学校の校舎も焼失してしまつた。小学三年にして父を失い、四人の子を残された母が精一杯、無理をして就学させてくれた生活設計も崩れ去り、通学どころか、取りあえず口過ぎを考えねばならなかつた。日ならずして郷里の本家筋から見舞いがてらの情報で県の震災対策非常措置として避難生徒の無条件受入れがあるから甲府へ来いと誘われて、単身、父祖の地を踏む。当時の甲中は厳選されたエリート集団だったが、一方綱紀が乱れ、入試問題ろうえい事件や、私の同級生が犯した不老園殺人事件などで、かなり荒廃していた。校長も更迭され夏休み中に長野中学の名校長江口俊博先生が赴任した。先生の高邁な人格

と熱心な率先垂範により日ならずして平穩に戻る。五年生に内田常雄、四年生に有泉亨という後輩、政界学会に名をなす優勝も居た。同級生で特筆したいのは志村彦七が大正十三年夏の全国中学校庭球大会で準優勝して母校の名誉回復に貢献した。太鼓橋を渡つて黒門をくぐると古びた木造校舎の前に二面のテニスコートがあつたが之も校長の理解で整備され庭球部の全盛を謳歌した。続く寄宿舎を回つて中央線鉄路に近く汽笛しげき運動場あり、大正十四年四月公布された「陸軍現役将校学校配置令」により甲府聯隊現役平山大尉の軍事教練が実施されたが、何しろ日中戦争勃発より十二年も前のこと一向に身につかなかつた。その頃隣地に水晶を象つた恩賜林謝恩塔が建立されて青空に聳え立つた。学校が移転すると共に何もかも消えてしまつたが謝恩塔のある風景は昔のまま今も偶々帰省の折、眺める白い塔の下には私の若き日の思い出が残つているので唯一の心の遺産として残っている。一世紀近く生かされて恥のかき捨ては自業自得だが世紀末がこんな暗いのは困つたこと、何時の日か原点に戻るしかないだろう。

二〇〇〇年6月記（九十二歳）

戦争にはまた地を揺るがす苦難  
超え、果ては命を失つた

## 「我が快適チャレンジ精神」



フリーアナウンサー  
文化事業「イデア」主宰

高橋 恭子

昭和28年卒

昭和25年4月初の女子一期生として入学。制服は？ 体育は？ トイレは？

先生方と日々続けられた試行錯誤がまさに我々の規範を創り出していったように思う。俄か造りのステージを感動で揺るがせた井口基成のピアノ「皇帝」池田潔慶大教授の講演「自由と規律」など甲一高生としての薫陶を受けながら強行遠征に初挑戦。朝礼時上級生の怒濤のような私語のざわめきに驚いたり、毎朝校門に入る私たちに窓に鈴なりで大声でエールを送って来るお兄様方に秘かに心をときめかしたり、女子一期生の毎日は快適試練とスリルに満ちていた。「蜚雪時代」を抱えながら右往左往するばかりの私など一向に「学成り難く」迷走の末現在は小さな文化事業を通して心身健やかに高齢化社会を生きようと提唱続けている。現在91歳の老母介護に思う。母達前世代に比べ我々が如何に多くの老後選択肢を持つか。それらを究め聡明に生涯現役（俗にピンコ、ロリとも）を目ざし脳の活性化を図る精神活動を進展させたい。甲中・甲一高同窓会副会長の野村とみ代氏始め甲一高女子一期生が個性豊かで健康なのは前述した「快適チャレンジ精神」を今も共有するためだと確信している。

## 一生益々、御発展！



望月 幸一

平成六年卒

「稽古は弱い自分との戦いだ」「舞台は毎回真剣勝負！」日々、厳しい指導のもと、国立劇場において、日本の伝統芸能である太神楽（だいかぐら）の修行に励んでいます。獅子舞、お囃子、曲芸（傘のうえで升を回すなど）と、多岐にわたる芸の修練には、自分の限界を打ち破る、強い精神力が要求されます。手には、血まめができるなど、生傷は絶えません。母校甲府一高に在学中、中国研修旅行に参加しました。その時、舞踊団の素晴らしい演技を観て、中国文化の偉大さ、また、芸術は、国境、人種を越えて人々に感動を与えられることに驚きました。「人のために何かをしたい」という信念で、学生時代は生徒会長、演劇部員として活動しました。みんなに喜んでもらいたい、生きる力、元気を何らかの形で伝えていきたいと次第に考えるようになっていき、太神楽の修行を始めました。「闇が深ければ深いほど、暁は近い」をモットーに、太神楽の数少ない後継者として、伝統芸能を伝承するとともに、世界各国との文化交流を進めゆく太神楽師に、必ずなつて参ります。

## 「チャレンジの時代」 大島校長と甲中の生徒たち

甲府一高総務主任 大西 勉 昭和三十四年卒

ノンフィクション作家、日本ペンクラブ・三田女学会会員、アメリカ野球学会会員でもある佐山和夫氏によって、甲府中学出身の三神吾朗が米国における日本人最初のプロ野球選手であったことが話題の著書「ジャップ・ミカドの謎」で世に広く紹介された。



インディアナポリスでの試合広告。1916年のものと思われる。佐山和夫著「ジャップ・ミカドの謎」（芸文春秋社）より転載。



第7代 大島 正健校長

佐山氏は同著のなかで三神吾朗がアメリカに渡った真の動機を求めて母校甲府中学の後身甲府一高を訪ねた時の感動を次のように記している。バス路線から脇道に入って、正門へのまっすぐな道を歩いた。グレーを基調とした四階建てのきれいな校舎だ。中央にたかく、梨の葉をあしらった校章が見える。校門を過ぎて、中央玄関に向かって歩き進んだときのことだ。私は立ちすくんだ。左側の植え込みの中に、立派な石碑あり、

その中に「Boys be Ambitious」とあるではないか。レリーフの人物は、第七代校長大島正健である。佐山氏は、大島校長を通じて伝えられたクラーク博士のチャレンジ精神が三神吾朗をアメリカに渡らせ、前人未踏のプロ野球に向かわせた、という。

三神氏の渡米とアメリカプロ野球とのかかわりの真の動機については、氏の結論に委ねるとして、氏が大島校長時代の甲府中学の空気が時代精神に着目した点はきわめて興味深い。十三年六月の大島校長が在任する甲府中学は、石橋湛山、浅尾新甫、平井好一、中島鼎、小林中、笠井重治、塚原二四三、内藤多仲、斉藤潔、飯田蛇笏、望月春江、小池勝五郎など各界で新分野を切り拓き、旺盛なチャレンジ精神で、新風をおこしたグローバル・スタンダードの傑出した人材を生み出している。この時代についてじっくり研究して見る必要がある。十九世紀の後半から始まった本校の歴史が三つめの世紀に第一歩を刻まんとし新たな挑戦を課題とするいま、大島校長時代の甲府中学から学ぶものはきわめて大きいはずである。

## 将来の夢



花輪 秀剛

普通科三年

私は中学校の時、担任の先生から一高にはアーチエリー部があることを聞き、是非やってみたいと思うようになりしました。一高に入学し私はさっそくアーチエリー部に入りました。初めはなかなか思うように的を射ることができず苦労しましたが、だいに思うように当たることが多くなりおもしろくなってきました。そうなるに練習にも熱が入るようになり、コーチの吉成先生の指導のもとけんめいに練習しました。その結果、今年、全国選抜で二位になることができました。この間、おこなわれたジュニア選手権では残念ながら十一位に終わってしまいました。ですが、私はさらに練習を重ねて少しでも力をつけたいと思っています。私は、体育系の大学に進み、将来は体育の教員として母校一高にかえり、後輩の指導に当たりたいと思っています。そのためには学力面でも人格面でもしっかりとした人間になろうと思ひ、現在は受験勉強にがんばっています。

## 今、がんばっていること、 将来の夢



長田 義治

英語科三年

私は今、吹奏楽部で指揮をしています。高校に入るまで音楽経験のなかった

私は、はじめ楽器を吹くのにも苦労したので、部員全員の前で指揮をするには、これまでにも多くの困難がありました。六十名もの部員を引っ張っていくこと、音楽性のなさなど、もうすぐ引退なのに、不十分な点はたくさんあります。それでも部活を続けてこられたのは、音楽が好きだから。みんなで演奏するのが楽しいからです。いくつもの音がきれいに交じり合うときや、ひとつの曲が完成したときは大きな喜びを得ることができます。今は七月の定期演奏会に向けて全力を尽くしています。聴いている人に素晴らしい演奏を届けたい、私たち自身も感動する響きを創りたいという一念で毎日放課後、楽器を吹き、タクトを振っています。私の夢はアナウンサーになること。そのために一高に came ました。部活を引退した後、受験勉強の気持ちにしっかりとシフトすることが、私にとつての重要な課題です。

## 国際ボランティアをめざして



内田 陽子

普通科二年

私は今海外協力隊にとっても興味をもっています。興味をもちはじめたのは、中国への旅行がきっかけでした。中国について初めもっていた神秘的なイメージはほんの一部で、その貧しさに

は目を疑うものがありました。発展途上国と聞いても、日本のような先進国にいたのでは想像つきませんが同じ人間なのにここまで違う環境でくらしているのかと思うととてもショックでした。発展途上国の子供達は、本当に幸せなのかと考えたとき、日本のような幸せをあげあわせてあげたいと思いました。それから私は発展途上の国へ行き、ボランティア活動をしたいと思うようになりました。将来的には、海外で恵まれない子供達に私にできるだけの幸せを教えてあげたいです。そのために、今は多くの知識や技能を身につけようと思っています。夏休みにタイでマングローブを植林するオイスカの活動に参加しました。初め、このオイスカの活動を見たと、私がこれから種々ボランティア活動をするための第一歩にしようと思いました。若いうちにしかできないことを思う存分したいとよく思います。私はさまざまな事に積極的に挑戦して充実した人生を送りたいです。

## 僕の夢「夢」



伊東 聡史

普通科一年

さまざまな人が胸にその言葉を抱いて生きています。ある人はその夢を追う半ばで倒れ、またある人はその夢を現実のモノにしています。僕の

「夢」は何なのでしょう。あらためて考えてみました。僕の通う高校の校是に「ボーイズビーアンビシャス」というものがあります。「少年よ大志を抱け」というクラーク博士の名言ですが、僕はこの言葉をとても気に入っています。僕は、この「大志」と言うものに強い憧れを感じています。今、僕は「大志」を見出せてはいません。なぜならなにやら漠然とした「将来こうなれたらうれしいな」と言うものがあるのですが、人に向かつて大きな声では言えないような内容なのです。昔から僕は本が好きでした。実際、今まで読んだ本は数え切れないし、読んだ本全てを思い出すことはとても無理です。でも、それらのたくさんの本たちは僕を色々な冒険や探検に連れていってくれました。山、川、外国、異世界、異次元、宇宙……。なにより本は僕に想像する力、そして創造する力を与えてくれました。(ついでに国語の成績も……)今、僕の夢は「小説家」になることです。そして小さな子供にも大人にも夢の世界で胸躍る冒険を、そして笑いを、涙を、僕の感じた感動を伝えたいです。最近の子供は本離れが進んでいると聞きますが僕は本を読む楽しさを彼らに伝えたいと思っています。僕は今、「小説家になる」と言う小さな「夢」と「感動を伝える」と言う人にはまだ言えない「大志(小志?)」を抱いて高校生活を送っています。

着々と進む  
母校120周年記念事業

●「卒業生による音楽会」

平成12年10月20日(金)14時～15時30分  
於 山梨県民文化ホール 入場無料

出演 天野 宣(和太鼓奏者)

浅川 豊夫(ピアノ)

平野 忠彦(バリトン歌手)

林 ひろみ(ソプラノ歌手)

金森 静子(メゾソプラノ歌手)

川上 洋司(テノール歌手)

●「甲斐美術展」

平成12年10月19日(木)～23日(月)  
於 県民情報プラザ地下展示会場

出品者 甲府中学・甲府二高卒業生  
及び教職員

入場無料

●百周年記念館改修整備事業

(音楽会・美術展 補正予算400万円)  
(館内照明設備、トイレ、保管室、展示室、会議室、事務室、ロビー)10月20日  
前後完成式(補正予算2500万円)

●奨学金強化事業

毎年各学年二人計六人入年額10万円  
名称 高遠・同窓会奨学金  
(補正予算700万円)

●記念誌の刊行

平成13年3月刊行  
百十年のあゆみ 近年二十年の記録等  
A4 240頁(補正予算400万円)

●記念事業完遂のために  
募金にご協力下さい。

◎募金見込額  
4000万円

◎募金納入済額  
3123万7903円

◎募金振込先  
山梨中央銀行北支店

◎口座番号  
516547

◎受取人  
甲府中学・甲府二高百十周年  
事業協賛会会長 海沼 昭

◎フリガナ  
△コウフチュウガク・コウフイ  
チコウのみで十分です。

◎依頼人  
S63 コウフカズオ  
S63 甲府 一男  
フリガナ・名前の前に卒業の年を  
S63・日3のようにご記入下さい。

東京同窓会平成12年度、  
新役員が選任されました。

会長 渡辺 喜一(再任・昭和18年卒)  
副会長 恩田 宗(新任・昭和27年卒)

神山 茂(新任・昭和30年卒)  
井上 幸彦(新任・昭和31年卒)

笠井 莞爾(新任・昭和33年卒)  
五十嵐 節子(新任・紅会・昭和29年卒)

監事 小宮山 優(再任・昭和20年卒)  
内藤 健二(新任・昭和27年卒)

顧問 大森 雅典(再任・昭和16年卒)  
立川 孝幸(再任・昭和17年卒)

伴野 匡(新任・昭和19年卒)  
飯野 亨(新任・昭和23年卒)

「チャレンジ」に想う

社会は今大きく変わろうとしている。新聞にテレビに、毎日チャレンジの言葉が踊る。また今年にはシドニーオリンピックの年でもある。日本の水泳選手が記録を塗り替え、柔道の田村選手が「金」への挑戦を力強く語る。彼らの挑戦は、我々を熱くさせる。身近な生活の中にもたくさんチャレンジがある。リストラのために転職し、新しい職場でがんばっているサラリーマン。定年退職後、はじめて台所に立った男性。子育てを終えて、女同士連れだつて海外旅行に出かけた主婦。なかにはいじめの被害者だった人が、同じような苦しみを持つ人々の支援に立ち上がったなど。よりよい明日を信じて今日を生きる、その毎日がチャレンジする心を育てるのだろう。私たちが青春の日に歌った校歌の一節「日に新たまた日に新た、いや高きのぞみをもちて・・・」を改めてよい歌詞だと思ふ。

黒田 順子(昭和37年卒)

表紙の画は清水勲氏の力作

清水氏は昭和37年卒。清水氏は東京芸術大学油画科卒業後、国内外で個展を中心にチャレンジフルな創作を続け、現在イタリア在住。人間の本性を追求し自由奔放で大胆な描写は人々を魅了する。表紙の画は猫達の姿を借りた人間の姿であり、我々はその様な人間の業を見るだろう。近々帰国、個展の予定。

「紅会だより」

●第3回新春講演会・懇親会開催

1月15日(土)如水会館において、講師に平野忠彦氏(昭和31年卒)をお迎えし、「歌とおはなし」を、続いてロリポップパーティーを。

●第4回新春講演会準備始まる。

来春に向けて、プロジェクト委員会を立ちあげ、発進。

●新役員きまる

会長に、五十嵐節子(昭和29年卒)、副会長に井上若子(昭和30年卒)の両氏に決定。「紅会」に、多勢の方のご参加をおまちしております。

編集後記

★編集方針は「楽しく、面白く」

意外と苦痛の連続、同窓生のネットワークの大切さを痛感。

★「高校生に戻つて、頭を柔らかく」

頭脳は固いまま在校生の登場でお茶を濁す。

★売り物の「目玉」をつ作る

「われらがチャレンジ」は自慢の目玉となる。

★紙面の視覚的イメージの一新

新聞スタイルから冊子スタイルへ。編集と広告を分け、シンプルで格調ある誌面へチェンジ。等々・・・ユニークな編集に「チャレンジ」した皆様の気が召すやら。

最後に、資料を提供していただいた母校の大西先生、デザイン制作の山下AD、長澤Dに感謝いたします。

# 祝 甲府中学・甲府一高東京同窓会

## 雄 飛 会

昭和37年卒 在郷同期会

|        |           |        |
|--------|-----------|--------|
| 赤尾 博志  | 小宮山 清洋    | 原 龍二   |
| 浅川 宥   | 近藤 新太郎    | 林 久仁子  |
| 網倉 勇   | 斉藤 達也     | 藤原 洋   |
| 網倉 義久  | 酒井 昌男     | 古屋 千秋  |
| 飯野 寛   | 坂本 勝彦     | 保阪 三郎  |
| 遠藤 靖彦  | 笹本 忠彦     | 堀内 誠二  |
| 大野 仁   | 志村 栄成     | 薬袋 正嗣  |
| 奥脇 興一郎 | 新海 治夫     | 宮城 有市郎 |
| 小田切 常雄 | 神宮司 征治    | 村田 昭彦  |
| 落合 哲哉  | 鈴木 郁文     | 望月 薫   |
| 久津間 智允 | 津田 洋一郎    | 望月 武典  |
| 工藤 広   | 寺田 喜長     | 望月 忠夫  |
| 功刀 旭   | 内藤 充久(故人) | 山下 英雄  |
| 功刀 啓三  | 中沢 豊      | 山田 通正  |
| 久保田 二雄 | 新津 直樹     | 山本 敦夫  |
| 剣持 正明  | 野々垣 健五    | 和田 勝久  |
| 輿石 詔三  |           |        |



# 総合建設業

ISO-9001 認証

# 株式会社 コミヤマ工業

コミヤマ工業一級建築士事務所

本社 〒400-0067 甲府市長松寺町6番2号 TEL(055) 226-1121  
 東京本社 〒160-0015 東京都新宿区大京町22PJビル TEL(03) 3350-8511  
 玉穂工場 〒409-3813 中巨摩郡玉穂町一町畑882 TEL(055) 273-5411

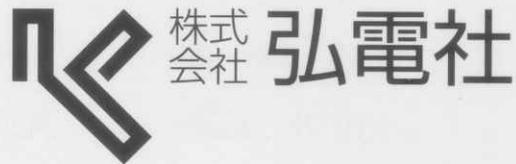
中部支店 大阪支店 福岡支店 松本営業所 仙台営業所 和歌山営業所 広島営業所 山口営業所 新潟営業所

## 祝！甲府一高創立120周年

総合広告代理店  
 株式会社 明文館  
 代表取締役 中村 敏雄 (昭和36年卒)  
 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1  
 東方学会新館

TEL.03(3230)4859  
FAX.03(3230)4860

## 電気設備工事



〒104-0061 東京都中央区銀座 5-11-10  
TEL 03-3542-5111 FAX 03-3543-3917

## 三洋電機株式会社

執行役員  
 セミコンダクターカンパニー副社長  
**田中 忠彦** 昭和36年卒

群馬県 邑楽郡大泉町坂田 1-1-1  
電話 0276-61-8343

## 新聞関連物流の エキスパート

## (株)日刊スポーツロジテム

代表取締役社長 久保田一三  
 (昭和36年卒)  
 〒104-0045 東京都中央区築地 7-6-1  
 TEL:03-5550-8221

立正大学 文学部 心理学教授

**齋藤 勇**

(昭和37年卒)

〒350-1317 埼玉県狭山市水野689-13  
TEL.042-958-9672 (FAX兼用)

**久保田公認会計士事務所**

公認会計士・税理士

**久保田 博** (昭和37年卒)

東京都新宿区四谷1-18 王蘭ビル3F  
TEL 03-3226-9155 FAX 03-3226-6359

**HAKUHODO**

**鈴木明 法律事務所**

**鈴木 明**

横浜市中区弁天通2丁目26番地  
第2トーホービル3階  
電話 (045) 212-1021



**中尾産婦人科**

四日市市茂福 612-1

TEL. (0593) **64-3210** (代)

オフィス・事業所の設備廃棄・片付け  
コンピューターの撤去・処理は当社へご連絡ください



人と地球にやさしい会社

**産業廃棄物収集運搬業:中間処理業**

社団法人神奈川県産業廃棄物協会会員 (879)

**興栄商事株式会社**

〒224-0057 神奈川県横浜市都筑区川和町103  
TEL.045-929-5525(代) FAX.045-929-5526



# (陶芸) 元 窯 焼 穴 能

林 茂 松

〒407-0263 山梨県韮崎市穴山町4281  
TEL 0551-25-5047 FAX 0551-25-5349



東 熱

地球にも人にも優しく

空気とともに生きる

東洋熱工業株式会社

専務取締役 経営統轄本部長 一瀬 英貴 (本校昭和37年卒業)

山梨営業所長 塩野 恒司 (本校昭和43年卒業)

本 社 〒104-8324 東京都中央区京橋 2-5-12 TEL 03-5250-4112

山梨営業所 〒400-0032 甲府市中央 4-8-3 313号 TEL 055-225-1199

精密光学機器製造(レンズ)

(有)コメイジ

古明地 勝昭

昭和37年卒業

80カ国・1000のネットワーク

海外総合ニュース通信社

米国 TIME・LIFE 英国 THE MIRROR

日本独占代理店

日本写真エージェンシー協会会員

日本電子出版協会会員

株式会社ユニフォトプレス

代表取締役社長 太田 東洋男 (昭和36年卒)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-7-6カクエイビル5F

TEL 03-3264-3761 FAX 03-3239-7002

URL <http://www.uniphoto.co.jp> e-mail: [library@uniphoto.co.jp](mailto:library@uniphoto.co.jp)

コヒレント・ジャパン株式会社

メディカルレーザーグループ

取締役会長

仲 山 洋

大阪支社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-6-18 新大阪和幸ビル3F

Tel:06-6350-7600(代) Fax:06-6350-7611

e-mail: [hiroshi\\_nakayama@jp.cohr.com](mailto:hiroshi_nakayama@jp.cohr.com)

<http://www.coherent.co.jp/cmgl/cmghed1.html>

東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌

聖学院大学

〒362-8585 埼玉県戸崎 1-1 Tel 048-781-0925

<http://www.seigakuin-univ.ac.jp>

■ 政治経済学部  
政治経済学科/コミュニティ政策学科

■ 人文学部  
欧米文化学科/日本文化学科  
児童学科/人間福祉学科

■ 大学院  
政治政策学研究科(修士課程)  
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科

昭和37年卒 標 宣男



香港より、美味しい香港を目指して。



# 香港ガーデン

Chinese Restaurant

LUNCH: 飲茶食べ放題 大人3,000円 子供1,800円  
DINNER: 料理と飲茶食べ放題 大人4,000円 子供2,400円

2階の麻布迎賓楼は、ゆったりとしたスペースで個室など落ちついた雰囲気のみなさまをお迎えいたします。ワンランク上のお料理を、ゴージャスな雰囲気の中でご賞味ください。

香港ガーデン株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布4-5-2 FAX:03-3486-8612

TEL:03-3486-8611 予約専用03-3486-3711

河西 力(昭和35年卒)



## サンリオピューロランド劇場

### 1周年ハローキティドリームレビュー

絶賛公開中!!

主演ハローキティ 演出宮本亜門

テーマ曲♪Only One♪広瀬香美

●営業日、営業時間、イベント、各種情報などのお問い合わせ  
サンリオピューロランドゲストセンター

ゼロヨンニ サンサンキュー  
☎042-339-1111 (9:30-17:00 休館日を除く)  
電話のおかけ間違いにご注意ください。

www.sanrio.co.jp/PUROLAND

©76, '90, '00 SANRIO CO., LTD.

お待ちしております。OB一同

New 10周年スペシャル  
アクロバティック  
パレード

## ムーンライトドリーム

社会のニーズに応える先端技術者の育成



## 学校法人片柳学園

### 東京工科大学

工学部 情報通信工学科 教授 河西 宏之(昭和37年卒)

工学部 情報通信工学科 講師 飯田 清人(昭和37年卒)

メディア学部 メディア学科 講師 河合 美保(昭和37年卒)

〒192-0982 東京都八王子片倉町 1404-1 TEL 0426-37-2111

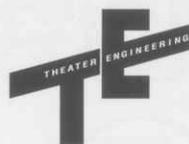
### 日本工学院八王子専門学校

自動車整備科 教員 網野 進(昭和57年卒)

〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 TEL 0426-37-3111

### 日本工学院専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田 5-23-22 TEL 03-3732-1111



## シアターエンジニアリング

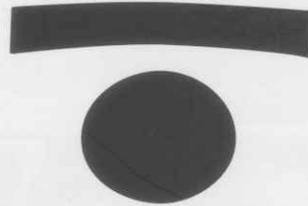
〒156-0052 東京都世田谷区経堂5-28-20

TEL. 03-3706-5611 FAX. 03-3706-6766

営業内容 舞台・スタジオ・テレビの照明・音響・舞台に  
関するコンサルタント及び設計・設備・施工。  
上記に関する機器の保守。機器・資材の販売。

渡辺真智子(37年卒)

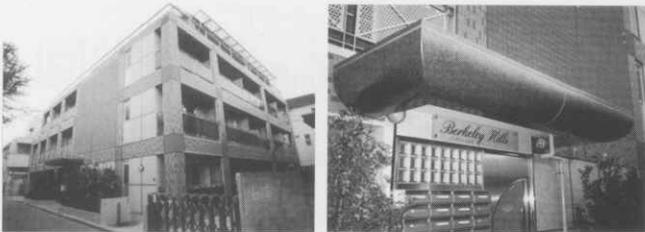
香味佳良 伝統の味



KURASOH

株式会社 **倉惣**

本社/〒400-0032 甲府市中央4丁目6-20 TEL 055-235-1551 FAX 055-235-4523



パークリーヒルズ 平成11年11月竣工  
株式会社 中嶋文夫プラスディー・エイ設計事務所  
代表取締役 中嶋 文夫 (昭和46年卒)

設計管理

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-5-24  
中嶋ビル4F

- 分譲マンション●賃貸マンション
- 事務所ビル●テナントビル
- RC住宅●教会等

TEL: 0422-51-8417  
FAX: 0422-51-8436  
E-mail: da-sekkei@tokyo.email.ne.jp  
URL: http://www.ne.jp/asahi/da-sekkei/nakajima/

## 東芝メディカル株式会社

常務取締役 東京支社長

三井 英郎

〒113-8456 東京都文京区本郷 3-26-5

ダイヤルイン (03) 3818-2000

ファクシミリ (03) 3814-6170

E-mail yoshinobu2.suzuki@toshiba.co.jp

昭和37年卒業  
関東地区同窓会

# 37の会

ミ ナ ノ カ イ

## 東芝テック株式会社

TOSHIBA TEC CORPORATION



東京支社 甲府営業所

甲府市中央 2-7-25 TEL 055-237-7715

# 手軽で便利なカードローン

## 新登場 プチローン CARD 21

メールオーダーサービスでお申込みができ、ATMでお借り入れできます。

ご利用限度額

10万円口

20万円口

お問い合わせ フリーダイヤル **0120-201862**

相談受付 / 9:00~17:00 (月~金曜日) ※ただし銀行休業日は除きます。  
資料請求受付 / 24時間365日

山梨中央銀行



株式会社 協商



〒210-0001

神奈川県川崎市川崎区本町1-5 かわさきタウンビル2階  
TEL: 044 (233) 7965 FAX: 044 (233) 9654

37年度卒 丹沢 忠行

### 建物総合管理

- 各種清掃 (床・硝子・外壁・貯水槽・他)
- 設備管理工事 (空調・消防・給排水・電気・他)
- 内外装工事 (クロス・タイル・塗装・他)
- マンション管理業務
- 海外事業部 韓国支店 (釜山)

つねに時代の最先端を疾走しつづけるAS/400eが、  
いますぐe-businessの世界へお連れします。

# IBM AS/400e



株式会社 オネスト

〒400-0051 甲府市古上条町506-3  
TEL.055-243-8211(代) FAX.055-243-7511  
ホームページ <http://www.kk-honest.co.jp>

甲斐路菓子処  
銘菓

甲州ころ柿 甲斐路めぐり

(株)竹屋あさかわ

本店：TEL(055)235-2288(代)  
甲府市幸町9-25(伊勢町通り)  
若松町店：TEL(055)233-3515  
甲府市中央4-12-4

通商産業大臣認可  
全国経営コンサルタント事業協同組合員

手塚 正太郎  
(昭和三十七年卒)

医療法人 米山医院

理事長 米山 正美  
(昭和37年卒)

〒300-1233 茨城県牛久市栄町6-57-2

TEL：0298-73-3685  
FAX：0298-73-9260

ミンクマジック

岩本 福喜

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17  
TOCビル地下1階105号室  
TEL 03-3494-2786

シティバンク、エヌ・エイ  
個人金融本部

青沼 丈二 (37年卒)  
バイス プレジデント 副本部長

〒140-8639 東京都品川区東品川2丁目3番14号  
シティコープセンター  
TEL:03-5462-5748 FAX:03-5462-5849  
joji.aonuma@citicorp.com

## 芝大門法律事務所

東京都港区浜松町1丁目25番13号  
浜松町NHビル4階

TEL 03-3438-1498  
FAX 03-3437-6025

(昭和37年卒・大脇 茂)

流体食品機械のパイオニア  
 岩井機械工業株式会社

昭和37年卒業

経営本部

取締役  
本部長

網倉 武夫

〒144-0033 東京都大田区東糞谷3-17-10  
TEL 03-3744-1119 FAX 03-3741-8399

住友海上火災保険株式会社  
住友海上ゆうゆう生命(株)  
アメリカンファミリー生命保険会社

代理店

有限会社 剣持保険事務所  
代表取締役 剣持 正明

〒400-0858 甲府市相生二丁目6-7  
Phone:(055)235-7656 Fax:(055)235-7675



 株式会社リアルビジョン

3Dグラフィックスボード・チップ  
開発、販売

〒222-8505  
神奈川県横浜市港北区新横浜3-1-1  
TEL 045-473-7331  
FAX 045-473-7330  
[www.realvision.co.jp](http://www.realvision.co.jp)

37年卒 佐野 正史

## 山桜興業株式会社

# 飯田ゴルフクラブ

代表取締役 中澤 豊

山梨県甲府市下飯田2丁目2番30号 〒400-0064 電話055-228-1294

旅のアシスタント



## 日本観光株式会社

運輸大臣登録代理店第3069号 山梨県知事登録22号

代表取締役 神宮司 征治(昭和37年卒)

甲府市相生2丁目18番4号 TEL:055-237-4646(代)

快適な甲斐の  
やすらぎの館



政府登録ホテル・日本ホテル協会・東急ホテルチェーン



古名屋ホテル

〒400-0032 山梨県甲府市中央一丁目7-15

TEL 055(235)1122

伴野 完(昭和23年卒)

木を創造する！

株式会社 山 雄

代表取締役 小田切 常雄 (昭和37年卒)

工場 〒409-3813  
山梨県中巨摩郡玉穂町一町畑1085  
TEL (055) 273-1707(代)  
FAX (055) 273-1105

本社 山梨県甲府市幸町12番7号  
TEL (055) 227-3434  
FAX (055) 232-1954

ISO 9001 認証取得  
QUALITY SYSTEM  
JQA-2187

真心と確かな技術



HAYANO

株式  
会社

# 早野組

代表取締役社長 早野 潔

本社 / 〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10 TEL.055-235-1111 リニューアル部 / TEL.055-232-0200  
東京支店 / 〒193-0835 東京都八王子市千人町2-5-24 TEL.0426-67-8800



天ぷらの老舗  
てんぷら日本料理

# 木挽町 天 國

ご来店のおりは、お知らせ下さればサービス致します。

|      |                            |                    |                        |
|------|----------------------------|--------------------|------------------------|
| 新宿店  | 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-2 | 新宿 高島屋レストランズパーク14階 | 電話 03-5361-1875        |
| 日本橋店 | 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-4-1   | 日本橋 高島屋6階          | 電話 03-3281-1092        |
| 柏店   | 〒277-0842 千葉県柏市末広町3-16     | 柏 高島屋 地下1階         | 電話 0471-44-1111(内2181) |

有限会社 甲斐國  
代表取締役 剣持 甲斐太郎(31年卒)

ハラダ製茶株式会社

Have a good TEA.  
ハラダのお茶



損害保険コンサルタント

特級種別代理店

# 有限会社 互惠商事

代表取締役 新海治夫(昭和37年卒)

TEL 055-232-8586

FAX 055-233-9727

南西プラザ 出店募集 甲府市上石田4-2-1

管理会社 東山梨郡春日居町鎮目20-1  
(有)グレースライフ 大柴  
TEL:0553(26)4720 FAX:0553(26)4620

契約代理人 甲府市中央一丁目9-6 青柳ビル301  
弁護士 鶴田和雄  
TEL:055(232)8001 FAX:055(233)5190

総合管理 甲府市川田町アリア203  
(株)グロープライト総合研究所  
公認会計士 藤原 洋(昭和37年卒)  
施主代表取締役 樋泉 靖志(昭和37年卒)

祝 甲府中学・甲府一高 東京同窓会

# ASA

CI企画・会社案内・商品カタログ・ポスター・新聞・雑誌等 企画制作  
**株式会社 アサ・アドバタイジング**

〒107-0061 東京都港区北青山3-5-11 高桑ビル514  
TEL 03-3403-3961(代) FAX 03-3403-4089

E-mail: asa@dd.iij4u.or.jp

人の数だけ、夢の数だけ、  
素敵な未来に……



—— エレクトロニクス技術商社 ——

**TKK 高千穂交易株式会社**  
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

常務取締役 今福 邦彦 (37年卒)

電子事業部長 山本 茂 (44年卒)

本社：東京都新宿区四谷1-2-8

TEL：03-3355-1111(代)

URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

～東武・日比谷沿線に展開して20年～  
～分譲住宅、一般建築、不動産仲介～

...タウンズ・アイ...

## 株式会社 東武住宅

代表取締役社長 堀田 勇(昭和37年卒業)

電話 0489-43-8881(代) 〒340-0053 埼玉県草加市旭町5-6-5

 **INTER CROSS CO., LTD.**  
株式会社 インタークロス

商業プロデュース

東京都文京区大塚3-6-1  
練木ビル3F  
Phone : 03-3946-5971  
Fax : 03-3946-5975

代表取締役

**飯島勇二** (昭和37年度卒)

土木・建築基礎工事に用各種調整剤の製造・販売  
汚濁水・廃泥水・汚泥・浚渫土・ヘドロ・  
建設発生土等の処理剤、土質改良材の製造・販売

## (株)テルナイト

代表取締役社長 河内 三郎(昭和27年卒)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-7-5  
TEL 03-3377-9321 FAX 03-3320-8961

キーテレホンシステム/PBXシステム/パーソナルコンピュータ/POSシステム/通報装置  
開発、製造、販売、保守サービスを行っている情報通信会社です。

# Nitsuko

## 日通工株式会社

〒101-8532 東京都千代田区神田司町2-3

昭和37年卒 山本 昌

### 皆様のシステムを介護します！

システム設計・構築

ソフトウェアの開発、ご相談、技術支援

OA器機関連の販売、

コンピュータに関する商品全般を承ります、

何でもご相談ください。

### PFS 株式会社 ピーエフシステム

〒130-0026 東京都墨田区両国 2-18-11  
TEL 03(5600)5581(代) FAX 03(5600)5584

URL <http://www.pfs.co.jp>

E-mail [sysinfo@pfs.co.jp](mailto:sysinfo@pfs.co.jp)

あなたの  
幸せに、  
とことんとん。

フコク生命の  
上川君がゆく！

すてきな未来応援します

**フコク生命**

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 TEL 03-3508-1101 (大代表)  
<http://www.fukoku-life.co.jp>

## 多宝産業 株式会社

代表取締役 丹澤 勝  
(昭和37年卒)

〒350-0442 埼玉県入間郡毛呂山町前久保650-17  
TEL.0492-94-7177 FAX.0492-94-9175 携帯090-3426-0182

株式会社 丸十特殊土木



安全第一

技術信頼

代表取締役 小泉 純一

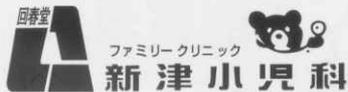
本 社 千葉県八千代市八千代台東1-40-7  
TEL.0474(85)3451(代)  
FAX.0474(85)3183



代表取締役 内 藤 治 生 (S41年卒業)

株式会社 エーディーエル システムズ

〒400-0858 山梨県甲府市相生 1-4-23 日本火災ビル1階  
TEL: 055-220-6456 FAX: 055-220-6458  
URL: <http://www.atl-systems.co.jp/>



和戸通り・甲府市東部市民センター前  
甲府市和戸町1002-5 TEL.(055)233-1014

新津 直樹 (昭和37年卒)

安全をモットーに  
電気を供給しています。

日本原子力発電株式会社

取締役社長 鷺見 禎彦

## 医療法人 小宮山会

外科・胃腸科

### 小宮山外科医院

甲府市中央1丁目12-33 TEL.235-3311(代)  
診療時間/午前8時半～午後5時半(土曜午後・日祝日休診)各種保険適用

\*\*\*\*\*

整形外科・リハビリテーション・眼科

### 貢川整形外科病院

甲府市新田町10-26 県立美術館・西北 徒歩5分 TEL.228-6381(代)～3  
診療時間/午前8時半～午後5時半(土曜午後・日祝日休診)各種保険適用

理事長 小宮山 清洋

# 東芝電送株式会社

代表取締役 三枝 靖夫

〒105-0014 東京都港区芝2丁目31番15号 北海芝ビル

TEL.03-5440-1666 FAX.03-5440-1671

# 株式会社 岡村製作所

首都圏営業部東京西支社  
官公庁部

港区赤坂 6-1-20 国際新赤坂ビル西館10F  
TEL.03(5561)4031 FAX.03(5561)4020

甲府営業所

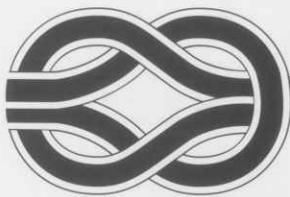
甲府市相生 1-2-31 甲府大同生命ビル3階  
TEL.055(225)1911 FAX.055(225)1913

不動産企画コンサルタント

株式会社  
立地企画

住所 甲府市富士見1-2-13  
TEL(055)254-5500 FAX(055)254-5501

山梨/石和・春日居温泉郷



JA共済

HOTEL

ほくえ

〒406-0015 山梨県東山梨郡春日居町鎮目220

TEL:0553(26)3117  
FAX:0553(26)3120



# 久保田二雄 絵画教室

久保田 二雄

(昭和37年卒)

医療法人 共生会 **介護老人保健施設** <sup>ナック</sup>**NAC湯村**

Nursing Assistance Care

～あたたかな介護、自立へのお手伝い～

地域の介護が必要な高齢者を支援していく機関として、利用者個人の必要に応じケアプランを策定し、家庭にいるような心地よい雰囲気の中で医学的管理のもと看護、介護、リハビリ、レクレーションを行い、家庭復帰・自立支援のためのお手伝いをいたします。

- <サービスの種類>
- ◇ ロングステイ（長期入所サービス）
  - ◇ ショートステイ（短期入所療養介護）
  - ◇ デイ・ケア（通所リハビリテーション）

※ 県外居住者もロングステイは利用できます

施設長 **輿石 詔三**  
(昭和37年卒)

〒400-0073 山梨県甲府市湯村3丁目15番13号  
TEL 055(253)2200 FAX 055(253)2203  
E-mail:yumura79@beige.ocn.ne.jp

効率的システムを追求する

# 株式会社 エス・ジー

37年卒 米山 道夫

業務内容 1. 通信システム開発 2. インターネット関連サービス 3. POSシステム開発等

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-18 井上ビル

TEL:03(3438)1915 FAX03(3459)0340

## 家庭実用書の総合出版社

レディブティック (月刊) 歌謡曲 (月刊)

female (月刊) こどもブティック (隔月刊)

会長  
志村 司郎 (昭和20年卒)

社長  
志村 昌也 (昭和35年卒)

副社長  
内藤 朗 (昭和46年卒)

(株)ブティック社 〒102-8620 東京都千代田区平河町1-8-3  
TEL 03-3234-2001 FAX 03-3234-6406 HP <http://www.boutique-sha.co.jp>

## 入居者募集 定員50名

デイサービスセンター併設

### 徒歩4分 石和温泉駅前に開設

大型スーパーや町役場、銀行や病院など日々の暮らしに必要な施設が近くにあり便利に生活することができます。

ケアハウス・デイサービスセンター

名称 ■ 「エレガローザ・イサワ」

所在地 ■ 山梨県東八代郡石和町松本262番地

設置主体 ■ 社会福祉法人 恵友会

施設規模・内容 ■ 鉄筋6階建、冷暖房、エレベーター、スプリンクラー、トイレ、ミニキッチン、展望風呂、ナースコール(全室完備)

理事長 ■ 小田切 常雄 (昭和37年卒)

社会福祉法人 恵友会 ケアハウス エレガローザ・イサワ

〒406-0021 山梨県東八代郡石和町松本262

TEL 055-261-2103 FAX 055-262-2251

Sindbad for the 21st. century

# 藤原公認会計士・税理士事務所

株式会社 グローブライト総合研究所・藤原会計事務所

本 部 〒400-0811 山梨県甲府市川田町 アリア203  
TEL(055)220-1770 FAX(055)220-1774  
優和公認会計士共同事務所山梨事務所

東京事務所 〒166-0011 東京都杉並区梅里一丁目6-12 リーラ新高円寺307



介護老人保健施設

## 能見台パトリア

医療法人 孝和会

NOUKENDAI PATORIA

〒236-0054 神奈川県横浜市金沢区堀口 131-54  
TEL.045-771-6756・090-8745-6171 植松まで

柳澤 和孝(37年卒)